

Chuo Vision 2025

中央大学は「實地應用ノ素ヲ養フ」の建学の精神のもと、全学の叡智を結集して伝統を絶えず更新・革新し、高度かつグローバルな知の実践者として実地応用の力を備え、社会の変革の担い手となる人材を育成しつづけてまいりました。2015年度に策定した中長期事業計画「Chuo Vision 2025」は2021年度に第2期を迎えました。2025年までに中央大学が果たすミッションを掲げ、創立150周年(2035年)へ続く未来に繋げるため、推進してまいります。

世界に存在感のある大学へ

中央大学 中長期事業計画

Chuo Vision 2025

MISSION

グローバルな視野と実地応用の力を備え、人類の福祉に貢献する人材の育成

VISION

教育 Education

社会の期待に応え、人類の福祉に貢献する力を備えた人材を育成するための総合的な実学教育の拠点の形成

研究 Research

地球規模での複雑な諸問題の解決に寄与する専門かつ学際的な研究の拠点の形成

社会貢献 Contribution to Humanity

特色ある教育研究に立脚した社会連携とヒューマンネットワーク拠点の形成

キャンパス Campus

人類の未来を拓き、常に新たな社会的価値を創出する総合キャンパスの構築

経営 School Management

本学の継続的な事業活動を支える揺るぎない経営基盤の確立

建学の精神「實地應用ノ素ヲ養フ」

<https://www.chuo-u.ac.jp/aboutus/chuovision2025/>



2大キャンパス体制始動

2023年に法学部・大学院法学研究科が茗荷谷キャンパスへ、専門職大学院が駿河台キャンパスへ移転しました。これにより、中央大学は、都心エリアに5つのキャンパスを構えました。

法学部(茗荷谷キャンパス)・理工学部(後樂園キャンパス)・国際情報学部(市ヶ谷田町キャンパス)による3学部共同開講科目「学問最前線」がスタートし、また、法学部と法科大学院との連携により法曹教育も一層強化しています。

多摩キャンパスでは、経済学部・商学部・文学部・総合政策学部に加え、2019年に全科目の7割以上を外国語科目(主に英語)で授業を行う国際経営学部がスタート、2020年にはグローバル館・国際教育寮、2021年にはFOREST GATEWAY CHUOを開設しました。外国人留学生は、28の国・地域から948名(2024年5月1日現在・全キャンパス)が学び、国際交流活動が盛んに行われています。



多摩キャンパス



都心エリア5キャンパス
(後樂園キャンパス/市ヶ谷田町キャンパス/茗荷谷キャンパス/駿河台キャンパス/小石川キャンパス)

理工学部を再編し理工系3学部を新設（設置構想中）

高度な能力を持った付加価値の高い理工系人材を求めている社会の要請に応えるべく、理工学部を再編し理工系3学部（基幹理工学部・社会理工学部・先進理工学部）の新設を構想中です。新設する各学部の教育研究上の特色に応じて養成する人材像を明確に提示し、独自のカリキュラムを策定・実践することによって、加速度的に変化する社会において次々と顕在化する多様で複雑な諸問題に対し、それぞれの分野での専門性を発揮して適切に対応し、解決策を提案し、かつ実行する力を備えた人材を輩出してまいります。

| 基幹理工学部 | 社会理工学部 | 先進理工学部 |
|---|--|--|
| 数学科 | 都市環境学科 | 精密機械工学科 |
| 物理学科 | ビジネスデータサイエンス学科 | 電気電子情報通信工学科 |
| 応用化学科 | 人間総合理工学科 | 情報工学科 |
| 生命科学科 | | |
| 学びのキーワード STEM教育 基礎分野の複眼的理解 | 学びのキーワード 理工系の理論と技法 文理融合の複眼的思考 | 学びのキーワード 先端科学理論/技術 実践的応用力/スキル |

「令和5年度 大学・高専機能強化支援事業」（学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）【支援1】に選定されました。

本学は、持続可能な社会を切り拓き、国際社会に貢献できる「実地応用」の力を備えた次世代人材養成を目指して、デジタル・グリーン等の成長分野として2学部を新設する事業計画を申請し、選定されました。

実務家教員等による地域・企業等と連携したPBL型教育により、多様な経歴や背景を持つ学生が、数理・データサイエンス等の技術と知見を様々な分野に活かす素養と新たな価値を創造する能力を身に付け、国際・地域社会に貢献する教育・研究を展開します。

デジタル × **スポーツ系**

健康スポーツ科学の視点から、地域やコミュニティの中核となり、人々、組織や仕組みを結び付けてQuality of Lifeの向上に貢献し、人々の幸せや生きがいに貢献する人材を養成する

デジタル × **グリーン系**

農業生産・農業工学・食料ビジネスの3領域で、農業DXに資する技術力と次世代型アグリビジネス創生により、持続可能な社会の実現に貢献する人材を養成する

※助成金申請時の内容であり、今後の検討により変更する可能性があります。



<https://www.niad.ac.jp/media-download/6777/be721ae6f7334e32/>

JST「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」への採択について

本学は、「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」に採択されました。

SPRINGは、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が大学院博士後期課程学生を支援する事業で、以下の3点を推進するものです。

1. 博士後期課程学生による既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な研究を支援すること
2. 生活費相当額を支給することで学生が研究に専念できる環境を複数年度に渡り安定的・継続的に整備すること
3. 優秀な博士後期課程学生を多様なキャリアパスで活躍できる博士人材へと導くこと

本学は、「イノベーションの展開に貢献する人材養成の博士後期課程プログラム（D-CPR A : Chuo Promotion for Research Activities in Doctoral Courses）」を提案しました。

このプログラムは、「常に十年から数十年先の社会と課題を展望し、社会のあるべき姿に向けて研究を行うとともに、その成果を社会に導入し、人々の生活に根付かせるイノベーション」を目指し、また、そのようなイノベーションを担う人材を輩出することを目的としています。そのことを通じて、わが国のイノベーションの将来を担う優秀な人材の育成と増加に寄与していくことを、ビジョンとして掲げています。

このビジョンの実現に向けて、大学院学生に関しては、英吉利法律学校を礎とする人文・社会科学分野の教育・研究の伝統と、理工学分野の教育・研究とを融合させつつ、専門領域における高度な知識・能力に加えて、(1)分野横断的な協力を推進するための知的基盤、(2)主体性、協調性、リーダーシップを通して社会のあらゆる場面でチームワークを主導していけるコンピテンシーを涵養します。

イノベーションの展開に貢献する人材養成の博士後期課程プログラム

常に十年から数十年先の社会と課題を展望し、社会のあるべき姿に向けて自身の研究成果を社会に導入し、人々の生活に根付かせるイノベーションを担う人材を輩出する



<https://www.chuo-u.ac.jp/academics/graduateschool/news/2024/03/70523/>

